

同好会活動実施報告書

開催日・時間	令和7年11月27日 午前10時～正午
開催場所	広島市植物公園
参加人員	会員17人、家族会員2人、 計19人
<p>活動状況</p> <p>少し肌寒い朝、バスで来る人、車で来る人、総勢18人が植物公園に集合です。</p> <p>まず代表から手渡されたものに皆さんびっくり、手作りの名札です、クヌギの葉とイチヨウの葉に参加者の名前が書いてあります。クヌギの葉には顔がえがかれたドングリがつけてあります、なかなかしゃれてますね。さあ、皆さんこの名札を付けて大温室に向かって出発です。</p> <p>大温室の入口で、あ、この葉っぱ、面白ーい、との声に近寄ってみると、たくさんの鉢植えが、柚子、レモン、スダチ等のかんきつ類がずらーっと、何とそれらの葉っぱ、独特なんです。だるまのように途中がくびれています。素晴らしい観察眼、良く見ないと気が付きませんね。</p> <p>さあ大温室です、一步入ると南洋植物の世界、珍しい植物観賞ができますよ。</p> <p>先ず皆さんよくご存知、有名なバオバブです。うおー、すごーい、前に見たときよりおおきくなったなあと会員から驚きの声、ほんとおおきいですね。木肌、まるでコンクリートの壁に見えるねえ、これ、オーストラリアから来たんだよ、大きすぎたんでその壁を壊していいらしいよ、そーなんですかと、会話がはずみます。すると傍の説明に、(この温室には7種類のバオハブがあります)、えーっほんと？ ほんとですよ、ホラこれもバオバブです、あっ 本当だ、説明に(バオバブ)と、でも幹は直径10センチくらいで細めです、すべて太いと思っていたので、ちょっと物知りになりましたね。</p> <p>いろいろなランも楽しめますね、ほんとにきれいです。写真を取り撮りまくっている会員さんも、今は皆さんスマホでカシャッですからね、便利です。歩いていると(花のにおいを嗅いでみましょう)という説明版が、あ、チョコレートだ、ほんとですな、うんチョコレート香りですねとにっこり、それからランの花にペットボトルがかぶせてあり底に開いてる孔を嗅いだらこれはバニラです、楽しいですね、不思議ですね。</p> <p>ソーセージの木というの也有りますね(たべられません)との説明板、触ると硬いです。ボールのようなものからひげが、アリスダマとあります、苔をまっとうったようなソフトボール大のところが蟻の巣でそこから細いランの葉のような物が出ています、蟻と共生していますとの説明版、世界にはいろいろな植物ありますね。</p> <p>締め殺しの木とありますよ、怖いですね、ガジュマル、インドゴムの木等がそれで、他の樹木や岩等に巻きつき、巻きつかれた木は窒息(?)して枯れてしまうそうです。</p> <p>日本庭園で一休みした時、水琴窟との表示が、蓋から出ている筒に耳を寄せると、聞こえます、水が底の溜まりに落ちて その時の音が中の空間で反響しているのですね、水琴ですか、いい響きです。</p> <p>庭園の下に藤棚にきました、綺麗な花が咲くフジも締め殺しの木ですね、観賞用で花房が長いものはノダフジといいで空に向かって右巻きに伸びていきます、山に生えてるヤマフジは花の房が短く左巻きで巻きついて伸びるそうです、ルートを一周して 12時前に観察会を終え散会となりました。</p>	